

12月3日(木曜日)「カブトムシの森」の枯れコナラを伐倒

【参加者:池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 計11名】



カブトムシの森のコナラのうちの数本は幹の半分ぐらいは枯れ、太い枝も折れそうになっていた。樹木の防御反応により全てが枯死するわけではないということで様子を見ていた木である。このまま放置すると倒木の危険性があった。散策路をふさいだり、公園内を散策する人への被害が起これると思われたので公園事務所から依頼を受け、伐倒処理をおこなった。

倒す方向を定めるためチルホールを使った。太い幹は玉切りにし、枝の部分は1メートルの長さで切って、シイタケの原木として使うことにした。まだ、「シイタケの菌打ち体験」で必要な数を確保できていないので、この後、「くぬぎの森づくり」予定地にあるコナラの木を数本伐った。今までの分も合わせて120本の原木を用意することができた。

12月10日(木曜日) 落ち葉を集めて腐葉土作り

【参加者:池本、越智宏、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 計11名】

公園内にはこの時期大量の落ち葉が降り注ぐ。光合成の働きを終えた落ち葉は、様々な土壤動物や微生物の働きによって腐り、土壌を豊かに育んでくれる自然の恵みである。土の上や森の中の落ち葉はそのままにし、舗装された散策路の落ち葉を掻き集め、毎年、腐葉土作りをしている。落ち葉で滑る人もいるので安全のためにも大切な作業である。

落ち葉の多いところを探し、ビジターコテージの裏側の坂道、「風のとりで」より5番東屋までの散策路、ビジターコテージからサギソウ園へ向かう散策路の3か所の落ち葉掻きを行った。ほうきでかき集め、袋に詰め込んだ。荷台に8袋積み、2台の軽トラックでビートルズベッドまで10往復。ビートルズベッドはほぼ満杯になった。しかし、踏みしめた後しばらく置くとさらにかさが減ると思われるので、2週間後にもう一度落ち葉掻きをすることにした。

ブロアーで散策路をきれいにして作業を終えた



12月17日(木曜日) 今日から枯れマツの伐倒開始

【参加者:池本、梶川、越智宏、越智美、北、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、計10名】

どうして松が枯れるの？

まず、外国からやってきたマツノザイセンチュウがマツノマダラカミキリの体の中に入ります。すると、カミキリが松の若い枝をかじる時に体の中からこのセンチュウが出てきて、枝のかみ傷から松の中に入ってどんどん増えていきます。センチュウが増えると松の中の仮道管という細い管（根が吸い上げた水を葉に送る管）が詰まって葉は水不足になり松が枯れるのです。



枝を払います

幹は玉切りにします



木にかかってしまったのでロープで引張りましょう



1か所に枯れマツが4本も。どれから伐りますか



払った枝はここに置きます



ブローワーで道をきれいにしてください

傾斜地で足元が不安定ですね。気をつけてください



作業中「あぶない！」と思う場面があったので、活動後に安全について再確認した。

30本あまりを伐倒

12月24日(木曜日) 今年最後のモリメイト・落ち葉で遊ぶ

【参加者:池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中計11名】

午前中の落ち葉掻きでビートルズベッドは満杯になった。

落ち葉の感触を確かめながら踏みしめ、飛び跳ね、落ち葉に潜り、落ち葉をかけ合い、落ち葉のベッドで大の字に寝る。子どもに戻って落ち葉で遊ぶモリメイト。大きなけがもなく今年最後の活動を終えた。

